

# 第5次金山町総合発展計画(案)に寄せられた意見の概要と意見に対する町の考え方

1. 意見募集期間 令和2年12月21日(月)～令和3年1月18日(月)
2. 提出されたご意見 1件(意見者数1人)
3. 提出された意見の概要及び意見に対する町の考え方

## 【意見概要】

第5次金山町総合発展計画骨子(案)では、是非とも※論語そのものの重みや意義を伝える意味でも、『近き者喜びて、遠き者来る』という言葉●基本目標④/地域連携・安心安全・防災・健康福祉「ひとが集う、持続可能なまち」の項にそのまま使っていただきたくご提案申し上げます。

※令和元年度版金山町主要施策集「まちづくりノート」P6●交流推進事業(継続)の文中に記載⇒「わが町の町づくりの特徴は観光地化を進めるものではなく、論語でいう『近き者喜びて、遠き者来る』の理念、つまり町民による町民のための町づくりこそが基本であるということです。」

## 【町の考え方】

平成31年3月に策定した「金山町生涯活躍のまち基本構想・基本計画」においても、「全世代が希望を持って生涯活躍でき、将来にわたり豊かな心で安心して暮らせる町」を基本目標にかかげており、高齢者を含め今住んでいる町民、特に若者・子育て世代が、これからも住み続けたいと感じるまちづくりの充実を図り、豊かな田舎暮らしの魅力を外部へ広く発信していくことが重要と考えています。

第5次金山町新総合発展計画においても、その理念を引き継ぎ、持続可能な町をめざしていく方針であることから、ご提案にあります、まちづくりノートに記載された論語「近きもの喜びて、遠きもの来る」の文中への記載について検討してまいります。